

科目	経済政策	担当	秋山 健太郎	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

経済政策は、ミクロ経済政策、マクロ経済政策、所得再分配政策に分けることができる。これら3つの基礎理論を体系的に学び、現実のデフレ、所得格差、人口減少、国際収支、資源エネルギー・環境等の経済諸問題を取り上げ、どのような経済政策が必要かについて解説する。本講義では基礎理論の習得と現状の課題を整理し、自分の考えをまとめる力を身につけることを到達目標とする。

【履修注意】

- ・経済政策に興味を持つため、日本経済新聞等で普段から経済情報にふれてほしい。
- ・経済学の基本的な知識を基礎的な参考書を読むことによって身につけてほしい。

【評価方法】

- ・期末試験(80%)、レポート(20%)

【試験について】

- ・期末試験の実施

再試験対象者の条件: 期末試験を受験した卒業年次生で、期末試験が40%以上のものを対象者とする。

【予習・復習】

予習はシラバスに従い、参考書等によって関連項目について調べ情報を収集する。復習は授業で配布した資料と確認問題プリントを確実に理解する(理解できない点は次回の講義で確認する)。

【教科書】

- ・購入教科書なし。必要な資料は授業で配布する。

【参考書】

- ・書籍名:ゼミナール 経済政策入門 著者: 岩田規久男, 飯田泰之 出版社:日本経済新聞社
- ・書籍名:経済学入門(ミクロ編, マクロ編) 著者: ティモシー・テーラー, 高橋璃子訳 出版社:かんき出版

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	経済学と経済政策	資源配分の効率性, 競争市場の費用最小化メカニズム
2	経済政策の基礎理論(ミクロ)	ミクロ経済政策の目的・評価基準, 所得分配の公平性基準
3	市場への政府介入	競争市場と税・補助金政策・規制, 保護貿易政策の評価
4	公益事業と公共政策	自然独占と規制, 公益事業の規制緩和と民営化
5	外部性と公共財	外部性と市場の失敗, コースの定理, 公共財の供給
6	情報の経済学と経済政策	不完全情報・非対称情報下の経済政策, 情報の経済学経済
7	経済政策の基礎理論(マクロ)	マクロ経済政策の目的, 所得分配の公平
8	成長政策の理論と課題	経済成長とマクロ生産関数, 新古典派成長理論
9	安定化政策の基礎と財政・金融政策	安定化政策, 財政政策とその効果, 金融政策とその効果
10	インフレ・デフレと失業	価格・物価水準の決定, 物価の変化と労働市場・金融市場
11	安定化政策の現代的課題	財政の維持可能性と財政再建, 金融政策ルールと安定化
12	所得再分配政策の基礎理論(再分配)	所得再分配政策の基準, 機会の平等と資源配分の効率性
13	税制の効率性と公平性	包括的所得税の理念, 支出税の考え方, 所得税と消費税
14	年金と医療政策	社会保険制度, 医療保険と医療政策, 公的年金
15	全体のまとめ	全体のまとめ
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ